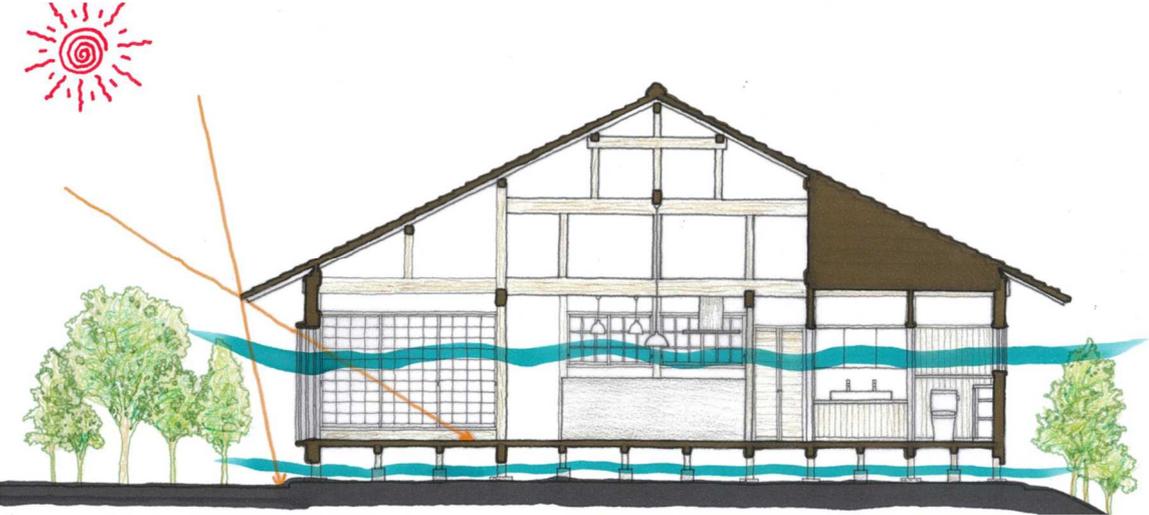


令和元年度サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）第 1 回採択プロジェクトの提案概要

No.	プロジェクト名
	書類申請作成者
	概要
	イメージ図

1	<p>広江の家</p> <p>一級建築士事務所(有)バジャン</p> <p>倉敷の伝統的な瓦屋根、焼杉張りの外壁や格子による地域に根ざした建物形態・意匠の継承や敷地に小さな森をつくり地域景観との調和を図った土壁石場建て住宅。</p>
	
	<p>筑波山麓板倉仮設転用住宅</p> <p>(株)里山建築研究所</p> <p>仮設住宅（東日本大震災）の再生転用の落とし込み板壁構法は筑波山麓の杉材を大和張りとし歴史的景観に配慮、里山地域における様々な取り組みを図った住宅。</p>
2	

3	<p>豊田の石場建て</p> <p>水野設計室</p> <p>愛知県三河地方の土と木に恵まれた建築素材を積極的に取り入れ、地域の卓越風を活かし中庭を設け夏の暑さに対する通風に配慮した土壁石場建て住宅。</p> 
4	<p>U 邸新築工事</p> <p>(有)門</p> <p>敷地林の保全や緑化、アマハジや南入りの配置等の地域特有の気候風土への配慮や伝統的集落との調和した空間デザイン、地域素材の赤瓦や漆喰、木材の活用した住宅。</p> 
5	<p>風と生きる花ブロックの家</p> <p>松田まり子建築設計事務所</p> <p>伝統的な材料の花ブロック、遮熱ブロックの活用を中心に、通風、R C 造の堅牢性ととも、外空間の連続性、日射遮蔽、台風への対策といった高温多湿な蒸暑地域の気候風土への対策と独自技術の推進を図った住宅。</p> 